



例会/毎週水曜日 12:45~ 例会場/勇屋会館 事務所/安曇野市豊科 4312-6 奥村ビル2F
 TEL0263(73)2901 FAX0263(72)3181 E-mail azumirc@poppy.ocn.ne.jp

会長 中村 忠 幹事 小穴 実

2019~2020年度 R.1テーマ

ロータリーは世界をつなぐ

R.1会長 マーク・ダニエル・マローニー



クラブ標語:「It is much More Important how to be good, rather than how to do good」

～ ガバナー公式訪問 ～

- ★ 配布 ・幹事報告5号
 ・ガバナー公式訪問資料
- ★ ロータリーソング ・君が代
 ・奉仕の理想
- ★ ゲスト
 ・国際ロータリー
 第2600地区ガバナー 古川 静男 様
 ” 補佐 折井 正明 様
 副幹事 堀川 豊 様
 ・米山奨学生 グエン トウエト フォン 様
- ★ 会長挨拶 [中村会長]



3) ロータリーソング「奉仕の理想」について
 今日の会長挨拶は、例会の冒頭で歌ったロータリーソング「奉仕の理想」についての

お話

7月22日親クラブであります松本南RCへ訪問の時にうたわれた歌は、「ようこそわがクラブにお越しくださいました」という内容の歌でした。

私は初めてその歌を聞いたので、後日ロータリーソングをNET検索してみましたところ、その歌詞の歌は検索できませんでした。

もしご存知方がいあらしたら後ほど教えていただきたいと思ひます。

そこで目についたのがその他のロータリーソングです。例会のときに歌を歌う風習は、1907年、今から112年前シカゴRCで始まりました。

「親睦」か「奉仕」かの大論争でぎすぎすしたクラブの雰囲気や和らげようとハリー・ラグラス(5人目の会員)が音頭をとって歌い出したのが始まりです。

当時はロータリーソングなんてまだありませんので、民謡や当時の流行歌が歌われたそうです。初めての日本語オリジナルのロータリーソングです。1935年(昭和10年)5月の第70地区大会(京都)を記念して募集され、当選したのがこの4作品です。奉仕の理想、我らの生業、それでこそロータリー、手に手つないで
 第1位は「旅は道づれ」。

第一 作歌 杉村廣太郎(東京)
 作曲 吉住小三郎(東京)

旅は道づれ世はなさけ なさけは人の為ならず
 世は明鏡のやどす影 うつつ形を偽らず
 わがほほえめば 影も笑む
 この「旅は道づれ」は作曲の一部に盗作があったため後に失格となり、第2位の「奉仕の理想」が、第1位に繰り上げ当選になったそうです。

作歌 前田和一郎(京都)

奉仕の理想に 集いし友よ
 御国に捧げむ 我らの業
 望むは世界の 久遠の平和
 永久に栄えよ 我らのロータリー ロータリー

実は、この曲を作詞した京都RCの前田さんの原詩は、「御国に捧げん」ではなく、「世界に捧げん」だったのです。当時の村田省蔵さんというガバナーは国粹主義的な考えを持った方だったようで、この「世界に捧げん」を「御国に捧げん」と変えなければ当選は無効と宣言したので、前田さんは泣く泣く承諾したのだそうです。前田さんは後に亡くなる前、「もし出来ることなら何時の日にか原詩の『世界に捧げん』に戻していただければありがたい」と遺言されたそうです。

「御国」という言葉に変えたのは、英語が敵性語とされ、米国由来のロータリーに世間の冷たい目が向けら

れようとしていた時代に、ロータリーの組織を守ろうとする苦肉の策だったかも知れませんが、実際の「奉仕の理想」が発表された昭和10年の5年後には日本のロータリークラブは国際ロータリーを脱退し、解散を余儀なくされることとなります。

そうしたロータリー苦難の時代を耐え抜いたこの歌の歴史は尊重しなければなりません、私たち21世紀を生きるロータリアンはこの歌の「御国」を、「世界」でも「地域」でも「社会」でも自由に置き換えて歌ってかまわないと思っています。

★ 幹事報告 [石田副幹事]



別紙参照

◇ニコニコBOX

場々：ガバナー、ガバナー補佐をお迎えして。

二木：古川ガバナーよろしくお願ひします。

濱：ゲストの皆様、心より歓迎致します。

石田：国際ロータリー第2600地区ガバナー古川静男様、ガバナー補佐折井正明様、副幹事堀川豊様をお迎えして。

岩波：ガバナーご指導を。

笠原：ガバナーはじめ多くのゲストをお迎えして。

小林：ガバナーをお迎えして。

丸山（慶）：古川ガバナー様をお迎えして。宜しくお願ひ致します。

中村：古川ガバナー、折井ガバナー補佐、堀川副幹事、ようこそあづみ野RCにお越しいただきました。

高木：ガバナー、ガバナー補佐様をお迎えして。

折井：古川ガバナーの公式訪問にご一緒させていただきます。よろしくお願ひします。

[11件 19,000円]
今年度ニコニコBOX計 99,000円

◇出席

会員総数 27名 出席免除会員数 3名	
本日の出席率	前々回 (7月24日修正出席率)
出席者：12名	欠席者：13名
欠席者：12名	メキップ：10名
出席率：58.33%	出席率：87.50%

★古川静男ガバナー 卓話



2019年1月に開催された国際協議会において、次年度RI会長マーク・ダニエル・マローニー会長は、次年度RIテーマを『ロータリーは世界をつなぐ』と発表しました。そして「クラブはロータリーの心臓部であり、ロータリーのあらゆることはクラブに起こる」とし「草の根レベルでクラブをサポート・強化し、奉仕を大切にする会員制組織としてのロータリーの文化を守り、成長のために地域別の新たなアプローチを試みる」と話されました。

また「ポリオが撲滅されれば、ロータリーが大きく認知され、多くの機会が訪れる。世界でよいことをするグローバルな組織としてロータリーが世界を先導する立場になれる可能性がある」と語っています。私は、国際ロータリーの役員としてRIの方針をクラブ及びロータリアンに伝えるとともに、その方針に基づき地区方針を定めて、世界120万人のロータリアンと意識を共通にしながら第2600地区のかじ取りをしていきます。マローニー会長のテーマ『ロータリーは世界をつなぐ』は、ロータリーを通じて様々なつながりを新しく生み出していく必要があることを強調したものだと考えます。

ロータリーには変えてはならないロータリーの哲学的な部分と時代と共に変えていかなければならない柔軟性の部分があります。皆さんの家庭でも企業でも時代と共に成長していきます。変化しないことは後退することを意味します。これはロータリーの世界でも全く同じです。

RIでは、今までの戦略計画を変更して今後5年間の新たな戦略計画を発表しました。これは活動を大きく方向転換したものではなく、変えてはならないロータリーの哲学を時代に合った活動に変えていくための方法論の変更です。新たな戦略計画は、「より大きなインパクトをもたらす」「参加者の基盤を広げる」「参加者の積極的なかわりを促す」「適応力を高める」という非常に抽象的な言葉で表されています。

すので、では具体的に何をすると質問が出そうです。RI ではこの戦略計画を具体的に実行していくために、2019年—2020年の年次目標を「人びとが手を取り合うのを促す」「行動する」に決めました。これには9つの具体的な項目が明記されていますので、その項目を実行すべく第2600地区としても活動方針を定めて実行していくこととなります。

私は第2600地区の標語を『ロータリーの魅力を広めよう』としました。そして活動計画として「研修を通じてロータリーを知る」「人脈を広げて自分の人生を豊かにする」「奉仕活動の実施」「ロータリー・ファミリーの拡大」の4つを決めました。

ロータリーに入会した人は、まだロータリアンにはなっていません。ロータリアンになるためには、ロータリーの歴史や基本的理念を学び、現在のロータリーの活動を知り、そして入会したクラブの歴史や活動などを知らなければなりません。まずロータリーを知ることによりロータリアンとしての一歩を踏み出すのです。そこがロータリーは単なる親睦団体やボランティア団体ではないと言われる所以です。

私は、ガバナーノミニの時代から第2600地区の様々な行事に参加して多くのロータリアンの方々と知り合うことが出来ました。また苦楽を共にする同期のガバナー仲間とも深い親交を結ぶことが出来ました。ロータリーのつながりは素晴らしいものがあります。皆さんにロータリーの魅力を大いに語っていきます。ロータリーのバッジを通じて素晴らしい仲間と知り合い、人間関係を築いていきましょう。きっと自分の人生が充実したものとなります。限りある人生の一ページを共に歩んでいきましょう。1年間よろしくお祈りします。

